



事務連絡  
2024年2月28日

職員各位

薬事委員会  
委員長 水野伸一

薬事委員会 会議結果報告

2024年2月21日に開催された薬事委員会での審議結果を報告いたします。

1. 別記載の医薬品6品目6規格を採用医薬品に追加する。
2. グルコースモニタシステムのFreeStyle リブレ2センサーを採用する。
3. 別記載の医薬品4品目4規格を院外処方限定医薬品に登録する。
4. 別記載の医薬品1品目1規格の採用医薬品を変更する。

以上

2024年2月院外処方限定医薬品

- ・アーリーダ錠60mg
- ・エプレレノン錠50mg
- ・トラディアンス配合錠BP
- ・モイゼルト軟膏1%

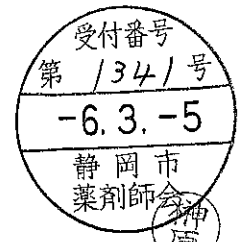
2024年2月採用変更医薬品

オメプラゾール注射用20mg「NP」

オメプラゾール注射用20mg「日医工」

供給停止

内服	現在庫量	単位	一包装量	薬価単位	薬価	総額薬価	薬効分類	備考
1. オクロロフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg「武田テバ」	2120	錠	1	錠	5.70	12,084.0	抗ヒスタミン剤	使用期限2025/12
						12,084.0	①内服合計	



## 新規採用医薬品

<p>アネレム静注用50mg 向習 ムンディファーマ 1119f</p> <p>成分:レミゾラム 《禁忌》本剤成分に過敏症の既往歴。急性閉塞隅角緑内障(抗コリン作用で眼圧上昇)。重症筋無力症(筋弛緩作用で悪化)。ショック・昏睡・バイタルサインの抑制がみられる急性アルコール中毒(呼吸抑制、低血圧増強)。</p>	<p>効能 用法</p>	<p>全身麻酔の導入及び維持 鎮痛剤、筋弛緩剤等と適宜併用すること。 導入:12mg/kg/時の速度で、全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入。年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速する。 維持:1mg/kg/時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は2mg/kg/時とする。年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速する。覚醒徴候が認められた場合は、最大0.2mg/kgを静脈内投与してもよい。</p> <p>《重大な副作用》低血圧(26%)、ショック・アナフィラキシー、依存性、呼吸抑制、覚醒遅延(不明)、徐脈(4.7%) 室温</p>
<p>エクラープラスター20µg/cm<sup>2</sup> 久光 2646</p> <p>成分:デブロドンプロピオン酸エステル 《禁忌》細菌、真菌、スピロヘータ、ウイルス皮膚感染症、動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等)(増悪)。本剤成分に過敏症の既往歴。鼓膜穿孔のある湿疹性外耳道炎、潰瘍(バーネット病除く)、第2度深在性以上の熱傷・凍傷(治癒遅延)。血清の浸出している病巣及び特に発汗の強い部位(皮膚感染症の誘発・悪化・汗疹のおそれ)</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ビダール苔癬を含む)、虫さされ、痒疹群[じん麻疹様苔癬、ストロフルス、結節性痒疹(固定じん麻疹)を含む]、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、環状肉芽腫、慢性円板状エリテマトーデス、肥厚性瘢痕・ケロイド 患部を洗浄乾燥後貼付、12~24時間毎 《重大な副作用》緑内障、後のう白内障(不明)。 室温</p>
<p>オndanセトロン注4mg シリンジ「マルイシ」 劇 マルイシ 2391</p> <p>成分:オndanセトロン塩酸塩 《禁忌》本剤成分に過敏症の既往歴。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>次記に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(a)抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与、b)術後 a)1日1回4mg(静)、症状改善なければ同量追加可 小児:1日1回2.5mg/m<sup>2</sup>(静)、症状改善なければ同量追加可 b)1回4mg(静)、年齢、症状により適宜増減 小児:1回0.05~0.1mg/kg(最大4mg)(静)、年齢、症状により適宜増減 《重大な副作用》ショック・アナフィラキシー、てんかん様発作(不明)。 室温</p>
<p>アレックスビー筋注用 劇 グラクソ・スミスクライン 6313</p> <p>成分:RS ウイルス PreF3 抗原 《接種禁》明らかな発熱、重篤な急性疾患。本剤成分にアナフィラキシーの既往歴。その他の予防接種不適当な状態。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>《薬価基準未収載医薬品》RS ウイルスによる感染症の予防 抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解。60才以上の者に1回0.5mL(筋) 医師が必要と認めれば他のワクチンと同時接種可 《重大な副作用》ショック・アナフィラキシー(不明)。 凍結を避け2~8℃、遮光</p>
<p>ゴービック水性懸濁注シリンジ 劇 田辺三菱 6361</p> <p>成分:百日せき菌の防御抗原、ジフテリアトキソイド、破傷風トキソイド、不活化ポリオウイルス1型・2型・3型(Sabin株)、インフルエンザ菌b型オリゴ糖-CRM197 結合体 《禁忌》明らかな発熱、重篤な急性疾患。本剤成分でアナフィラキシーの既往歴。その他の予防接種不適当な状態。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>《薬価基準未収載医薬品》百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎及びインフルエンザ菌b型による感染症の予防 初回免疫:小児に1回0.5mLずつを3回、いずれも20日以上の間隔をおいて【皮下又は筋注】。 追加免疫:小児に初回免疫後6ヶ月以上の間隔をおいて、0.5mLを1回【皮下又は筋注】。 医師が必要と認めれば他のワクチンと同時接種可 《重大な副作用》ショック・アナフィラキシー、脳症、けいれん(熱性けいれんを含む)、血小板減少性紫斑病(不明)。 凍結を避け10℃以下、遮光</p>
<p>バクテリックス水性懸濁注シリンジ 劇 MSD 6311</p> <p>成分:肺炎球菌荚膜ポリサッカライド-CRM197 結合体 《接種禁》発熱、重篤な急性疾患。本剤成分又はジフテリアキリット含有ワクチンにアナフィラキシーを呈した者。その他の予防接種不適当な状態。</p>	<p>効能 用法 副作用 貯法</p>	<p>《薬価基準未収載医薬品》沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン a)高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者の肺炎球菌(血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F、22F、23F、及び33F)による感染症の予防 b)小児の肺炎球菌(血清型1、3、4、5、6A、6B、7F、9V、14、18C、19A、19F、22F、23F、及び33F)による侵襲性感染症の予防 a)18歳以上:1回0.5mL【筋注】。18歳未満:1回0.5mL【皮下又は筋注】。 b)初回免疫:1回0.5mLずつを3回、いずれも27日以上の間隔をおいて【皮下又は筋注】。 追加免疫:1回0.5mLを1回、3回目接種から60日間以上の間隔をおいて【皮下又は筋注】 医師が必要と認めれば他のワクチンと同時接種可 《重大な副作用》ショック・アナフィラキシー(不明)、痙攣(熱性痙攣を含む)(0.3%) 凍結を避け2~8℃、遮光</p>